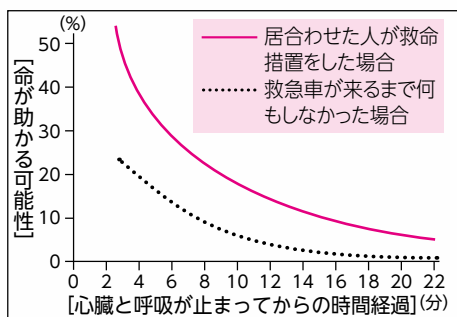


大切な命を救うために



9月9日(土)は「救急の日」です。また、9月3日(日)～9日(土)は救急医療週間です。皆さんも、いざというときの対処法を理解し、1人でも多くの命を救えるようにしましょう。

到着を待つ人の元へ



(Holmberg M; Effect of bystander cardiopulmonary resuscitation in out-of-hospital cardiac arrest patients in Sweden. Resuscitation 2000; 47 (1) 59-70. から一部改変)

素早い手当てが大切な命を救う

大切な家族が突然、目の前で倒れたとき、あなたは何ができませんか。もしも傷病者に何も救命手当てがなされなかった場合、呼吸停止から10分で生存率は10パーセント以下になってしまいます(左図)。一方、救急車の到着までに成田市では平均約10分、震災や大規模な災害発生時は、さらに時間がかかる可能性が考えられます。救急車が到着する前に、現場に居合わせた人が、どれだけ早く救命手当て

てを行えるかが、傷病者の救命や、社会復帰も含めた今後の人生を左右します。

普通救命講習会で心肺蘇生法を

市では、市民の皆さんにAEDの操作方法や心肺蘇生法を身に付けてもらうため、定期的に普通救命講習会を開催しています。

AEDは、病气や事故などで心臓が正常に動かなくなった人に、必要に応じて電気ショックを与え、心臓の動きを正常な状態に戻すための治療機器です。心電図の解析などを機器が自動で行うため、医師以外の人でも操作できるのが特徴です。

今回の普通救命講習会は次の通り開催されます。

日時 10月22日(日) 午前9時～正午

会場 大業消防署
 対象 市内在住・在勤・在学の中
 学生以上
 定員と参加費 15人先着順・無料
 申込方法 10月15日(日)までに同署
 (☎73・4141)へ

9月9日は救急キャンペーン

市では、市民の皆さんに応急手

当ての大切さを知ってもらおうと「救急キャンペーン」を開催します。AEDを使った心肺蘇生法や応急手当ての体験のほか、救急車や救急・防災資機材の展示なども行います。

日時 9月9日(土) 午前10時～午後4時
 会場 1イオンモール成田1階ガーデンコート

救急車の適正な利用にご協力を

平成28年の救急車の出動件数は6,869件で、このうち救急搬送した6,037人の約半数は、入院の必要がない軽症でした。

緊急ではないのに救急車が要請された場合、救急車を本来に必要なとする傷病者の元へ遠くの救急車が出動することになり、到着が遅れて救えるはずの命が救えない恐れがあります。

緊急性がなく、自分で病院に行ける場合には、救急車以外の公共交通機関などを利用してください。病状やけがの状況から、急いで病院へ連れて行った方が良いと思ったときには、迷わず119番通報をしてください。

※くわしくは警防課 ☎20・1592へ。